

広島市立大学情報科学部・情報科学研究科

産学連携教育科目提案応募フォーム

本フォームは広島市立大学情報科学部・情報科学研究科で実施する産学連携教育の科目提案を受ける応募フォームです。

内容についてご不明な点がございましたら、広島市立大学社会連携センターまでお問い合わせください。

問い合わせ先：広島市立大学社会連携センター

E-mail : sangaku-edu@m.hiroshima-cu.ac.jp (mailto:E-mail : sangaku-edu@m.hiroshima-cu.ac.jp).

* 必須

申し込み担当者に関する情報をご記入ください。

個人情報につきましては、産学連携教育に関わる連絡・情報提供及び事務業務のみに使用させていただきます。

1. 団体・企業名 *

記入例) (株) ○○会社など

2. 所属・役職 *

申し込み担当者の所属・役職をご記入ください。

3. 氏名 *

申し込み担当者の氏名をご記入ください。

4. E-mailアドレス *

授業内容（シラバス）確定のための連絡や正式依頼などの連絡に使用しますので、お間違いのございませんよう入力をお願いします。

5. 電話番号 *

申し込み担当者の電話番号をご記入ください。

提供いただける連携科目の内容についてご記入ください。

6. 提供いただける連携科目の種類をご選択ください。 *

タイプA：

知る!地域課題、企業の課題やIT人材育成の必要性、またこれらの解決に向けた取り組みを講述する科目

タイプB：

深める!地域教育や企業から提示された課題に対して問題発見型、課題解決型学習を通して、課題の背景調査や課題解決のプロセスを体験する科目

タイプC：

実践! 地域課題や企業の課題解決の取り組みを企業等現場で体験するとともに、取り組みに関連するシステム開発などに参加する科目

タイプA

タイプB

タイプC

タイプAに対して、提供いただける講義の内容をご記入ください。

タイプAは第2~14回に企業様等から1回以上出講していただき、テーマに関して講述する座学の講義です。各回小課題を提示し、その内容と受講態度を評価していただきます。第1回と第15回は大学でそれぞれガイダンスと総括の講義をします。

7. テーマ名 *

講義のタイトルとなるテーマ名をご記入ください。

記入例) ○○○に関する研究開発, △△△社の□□□への取り組みなど

8. 内容 *

講義概要を簡潔にご記入ください。

9. 回数 *

講義に必要な回数をご記入ください。

記入例) 1回, 2回など

10. 評価方法 *

講義に関して受講者の評価方法をご記入ください。

記入例) ○○に関する小課題、○○に関するレポート課題の評価など

--

タイプBに対して、提供いただける課題の内容をご記入ください。

タイプBは企業様等から提示された課題について、課題の背景の研修や解決に向けたプロセス(プロジェクトマネジメント含む)を学生に指導していただく演習講義です。学生がテーマを選んで履修し、提示の取り組み方法に従って課題解決に取り組みます。企業現場を含むフィールドワークで、企業での実習の場合、産学協働の取り組み※のタイプ2またはタイプ3に相当します。第1回と15回は大学でガイダンスと成果発表会(企業・団体様も評価者として参加)を行います。取り組み状況と成果発表によって評価していただきます。

※採用と大学教育の未来に関する産学協議会では2020年度に報告書「ポスト・コロナを見据えた新たな大学教育と産学連携」をまとめ、学生のキャリア形成支援における産学協働の取り組みや多種多様なプログラムの4つのタイプの類型化。

タイプ1:オープン・カンパニー(オープンキャンパスの企業・業界・仕事版)、タイプ2:キャリア教育(ブレ・インターンシップ)、タイプ3:汎用型・専門型インターンシップ、タイプ4:高度専門型インターンシップ

ポスト・コロナを見据えた新たな大学教育と産学連携 <https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/040.html>
(<https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/040.html>)

11. 課題のレベル *

提供いただける課題が学部2年生・3年生でも取り組める内容か、もしくは、大学院生レベルの内容かでどちらかご選択ください。

- 学部生レベル
- 大学院生レベル

12. 課題名 *

提供いただける課題の課題名をご記入ください。

記入例) ○○に関する調査、□□に関する演習、△△△におけるフィールドワークなど

13. 内容 *

提供いただける課題の概要をご記入ください。

14. 取り組み方法 *

課題に取り組む方法をご記入ください（実習場所を含む）。

記入例A) 会社において演習を実施する。

記入例B) 座学で検討を行い、〇〇〇においてフィールドワークを展開する。

記入例C) 本学において座学と演習を行う。

など

15. 評価方法 *

課題に関して受講者の評価方法をご記入ください。

記入例) 取り組みの姿勢、計画書、報告書、課題に対する発表・レポート等で評価するなど

タイプCに対して、提供いただける課題の内容をご記入ください。

タイプCは学生が企業等現場で就業体験し、提示された課題を解決する実践的なシステム開発に取り組む科目です。産学協働取り組み※のタイプ3やタイプ4を想定した内容です。第1回と15回は大学でガイダンスと成果発表会（企業・団体様も評価者として参加）を行います。取り組み状況と成果発表によって評価していただきます。

※採用と大学教育の未来に関する産学協議会では2020年度に報告書「ポスト・コロナを見据えた新たな大学教育と産学連携」をまとめ、学生のキャリア形成支援における産学協働の取り組みや多種多様なプログラムの4つのタイプの類型化。

タイプ1:オープン・カンパニー(オープンキャンパスの企業・業界・仕事版)、タイプ2:キャリア教育(ブレ・インターンシップ)、タイプ3:汎用型・専門型インターンシップ、タイプ4:高度専門型インターンシップ

ポスト・コロナを見据えた新たな大学教育と産学連携 <https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/040.html>
(<https://www.keidanren.or.jp/policy/2021/040.html>).

16. 課題のレベル *

提供いただける課題が学部2年生・3年生でも取り組める内容か、もしくは、大学院生レベルの内容かどちらかをご選択ください。

- 学部レベル
- 大学院レベル

17. 課題名 *

対象とする課題をご記入ください。

記入例) ○○○に関するシステム開発、○○○に関するデータ分析、○○のシミュレーションなど

18. 実施方法 *

課題の取り組み方法をご記入ください。

記入例) ○○○社開発システムを使用、クラウドシステム上に構築するなど

19. 実習場所 *

課題を実施する実習場所についてご記入ください。

記入例) ○○○社開発室など

20. 必要とされる知識・能力 *

ハードウェア、ソフトウェア、システム開発やプログラミング能力など必要な知識・能力をご記入ください。

記入例) 論理回路の基礎知識が必要、Javaプログラミング、Pythonプログラミング経験が必要など

21. 評価方法 *

課題に関して受講者の評価方法をご記入ください。

記入例) 課題に対する取り組み姿勢、計画書、報告書、成果物としてのシステムやコード、成果発表会におけるプレゼンテーションで評価するなど

セクション

22. 申し込み内容について希望や不明な点がございましたら、ご記入ください。

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms